

日本原子力学会 熱流動部会
熱水力ロードマップ H29年度幹事会(第1回) 議事録

日付： 2017年5月11日(木) 13:30～17:30
場所： 電力中央研究所 大手町ビル 739 会議室
参加者： 中村 (JAEA), 大貫 (MHI), 木藤 (日立), 西 (電中研), 岩城 (東芝) (記)
西田 (JAEA) (計算科学技術部会)
(欠席者)： 糸井 (東大)

配付資料

- 1) 資料1：2016年度__熱水力ロードマップ WG 議事録
- 2) 資料2：熱水力 RM2017
- 3) 資料3：熱水力ロードマップ WG 活動予算要望について (案)
- 4) 資料4：2017秋の大会 企画セッション提案書(案)

議事録 (案)

部会対応について、資料3を基に計算科学技術部会との関係を含む予算案を、資料4を基に秋の大会企画セッション案を議論した。また、今後のローリング方法について、資料1および2を基に議論した。

主な議論：

1. 部会の対応について

- ・ 予算および計算科学技術部会との関係について
 - 齊藤総務委員長から期中での活動予算提案は可能との回答をいただいております、資料3の予算要望案も作成いただいた。本提案内容について確認した。
 - 予算の使途は、遠方の大学(100km以上を目安)の先生の旅費とする。産官の旅費や会議室利用料は含めない。
 - 予算40万円は、過去にサブワーキンググループ(SWG)を作って活動費を予算化したときの実績に基づき、妥当な金額である。
⇒申請時に過去の実績(2015年版策定時)をエビデンスとして添付する。中村幹事が準備を行う。
 - SWGは、「熱水力SWG」と「安全評価SWG」の二つとし、前者を熱流動部会、後者を計算科学技術部会の担当とする。しかしながら計算科学技術部会の予算が見込めないことから、「安全評価SWG」の主査の先生の旅費は熱流動部会で支援することとする。
⇒この旨、中村幹事が予算要望書(案)に反映させる。
 - 部会HPへのRM2017のアップを広報委員長に依頼する。現状の構成では、RMが委員会活動の下に入っており探しづらいため、トップメニューに出してもらいたいことも併せて依頼。
- ・ 秋の大会企画セッション案について
 - 熱流動部会/計算科学技術部会の合同セッションとし、時間は90分とする。
 - 座長はWG主査の越塚先生に依頼する
 - 多くの方に興味を持って参加してもらうため、単なるRM紹介にとどまらず、技術知見が得られるような内容にする。具体的には、外的事象である火山と火災について講演いただく。
⇒火山は計算科学技術部会から、火災は電中研から講師の選出をする。
 - 最初に中村幹事がRMローリングの経緯や改訂版の紹介をし、課題のまとめから、講師の講演につなげる流れとする。
⇒岩城幹事が資料4(企画セッション提案書(案))の見直しを行う。

2. 今後のローリング方法について

- ・「基盤」と「SA」の課題整理表（技術マップ）の見直しについて
 - フォーマットは異なるが、「基盤」はAM策から課題抽出しており、産業界にとってわかりやすいスタイルである。
⇒フォーマットは維持する。
 - 「基盤」は、優先度の視点と評価の結果の根拠が書かれていないため、評価が妥当かどうかかわからない。
⇒根拠（R&Dの到達点など）を追記していくこととする。
 - 「基盤」は、課題の欄が空白になっているものもあり、「SA」の課題との整合も確認できていない。
⇒「SA」の課題整理表と相互の対応が分かるように両者にインデックスを設けて対応を示すなど、課題の検討がより円滑にできる方法を充実させていく。
 - 事故の事象進展の全体像と細かく細分化された課題との関連がわかりづらいとの、外部からのコメントが紹介された。
⇒全体像を説明するマップなり文書を作成する。事故シナリオは、熱水力やシビアアクシデント解析コードのマニュアル類も参考になる。
 - 次の改訂版の完成日限目標は、SWGが立ち上がって作業量が具体化し、進捗を検討する際に改めて議論する。
- ・SWGについて
 - 「熱水力SWG」はさらに幹事チームを「基盤」と「SA」の2つにわけて実質的な活動をする。SWGの委員は両者に対応する。
 - WGの幹事はSWGのいずれかの幹事や委員に入ることとする。担当を以下のとおりとした。
「熱水力SWG」： 幹事：SA {西幹事、木藤幹事}、基盤 {大貫幹事、岩城幹事}、委員：中村幹事
「安全評価SWG」： 西田幹事、中村幹事
 - SWGの主査候補を、「熱水力WG」は①守田先生②大川先生、「安全評価WG」は①功刀先生②田中先生とする。
⇒熱水力WGは西幹事が、安全評価WGは西田幹事が先生方に打診する。
 - 各SWGのその他の幹事および委員の候補は、上記幹事が1か月程度を目途に人選する。

3. 庶務関係

- ・委嘱状の作成・送付
 - 大貫幹事が担当してWG委員の委嘱状を基に作成し、総務委員長（ないし総務副委員長）が熱流動部会調印を押印して送付する。・予算管理
 - 旅費などの管理・報告は、岩城幹事が担当し、中村幹事より過去のエクセルシートを引き継ぐ。毎回のWGやSWGの後の委員への支払いに係る具体的な方法は、熱流動部会の齊藤総務委員長に確認する。

以上